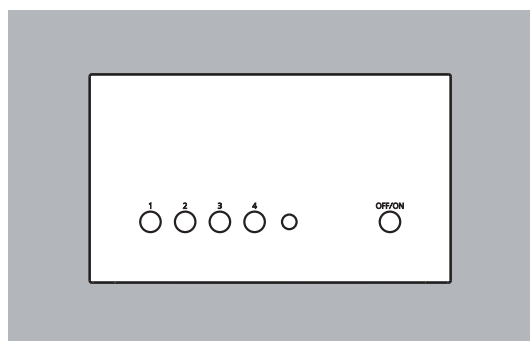




リビングライコン (調光タイプ)

品番：NQ28752WK NQ28752SK
NQ28751WK NQ28751SK
NQ28732WK NQ28732SK

お客様へ

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。
必ず、販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ

- この施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
- 施工の前に「安全上のご注意」(2 ページ) および「施工上に関するお知らせ」(3 ページ) を必ずお読みください。
- 施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- この施工説明書は取扱説明書とともにお客様へお渡しください。

もくじ

安全上のご注意	2
施工に関するお知らせ	3
各部のなまえと付属部品	3
適合負荷	4
システム構成	5
配線方法	5
施工前のご確認	8
施工方法	9
負荷切替スイッチの設定	12
教えて！ Q&A	13
故障かな？と思ったら.....	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



してはいけない内容です。



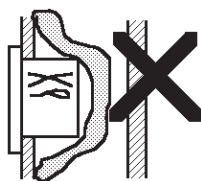
実行しなければならない内容です。



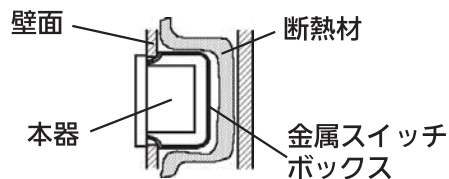
警告

- 断熱材（防音材等の断熱効果のあるものを含む）を本器に直接かぶせた状態での施工はしない
火災のおそれがあります。

断熱材をかぶせた施工



- ◎断熱施工の場合は下図のように金属スイッチボックスを使用してください。



禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外に取りつけない
火災、感電のおそれがあります。
- 曲がったり、傷ついたり、変色した電線は使用しない
発熱して火災の原因になります。
- 結線するときは、電線を奥まで確実に差し込む
差し込み不十分な場合、発熱するおそれがあり焼損による火災の原因になります。
- リビングライコンに対応していない照明器具は使用しない
火災のおそれがあります。
- リビングライコンの出力にコンセントおよびスイッチを接続しない
火災のおそれがあります。
- リビングライコンの出力にシーリングファンなどのモータを接続しない
火災のおそれがあります。



分解禁止

- 本体の分解や改造、および修理をしない
火災、感電のおそれがあります。



必ず守る

- 施工は、施工説明書にしたがい確実にこなう
取り付けに不備があると、火災、感電のおそれがあります。
- 適合負荷（4ページ）を最大負荷容量または最大接続台数以下で使用する
火災、感電のおそれがあります。
- 説明書に記載された電線を使用し、被覆は本体裏のストリップゲージにあわせてむき端子穴に奥まで差し込む
指定外電線の使用や不十分な結線および電線の先が曲がっている場合は異常発熱、火災のおそれがあります。
- 必ず壁埋込で施工する
指定以外の場所に施工されると異常発熱、火災のおそれがあります。
- 単相100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。
- 接続負荷に対して負荷切替スイッチ（12ページ）を正しく設定する
本器や照明器具を破壊させたり、火災のおそれがあります。

⚠ 注意



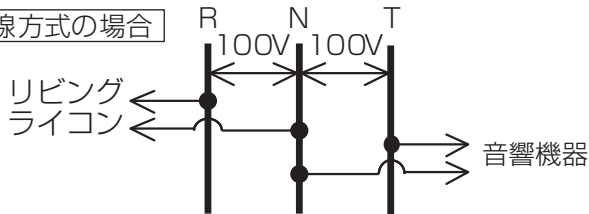
必ず守る

- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する
けがのおそれがあります。

施工に関するお知らせ

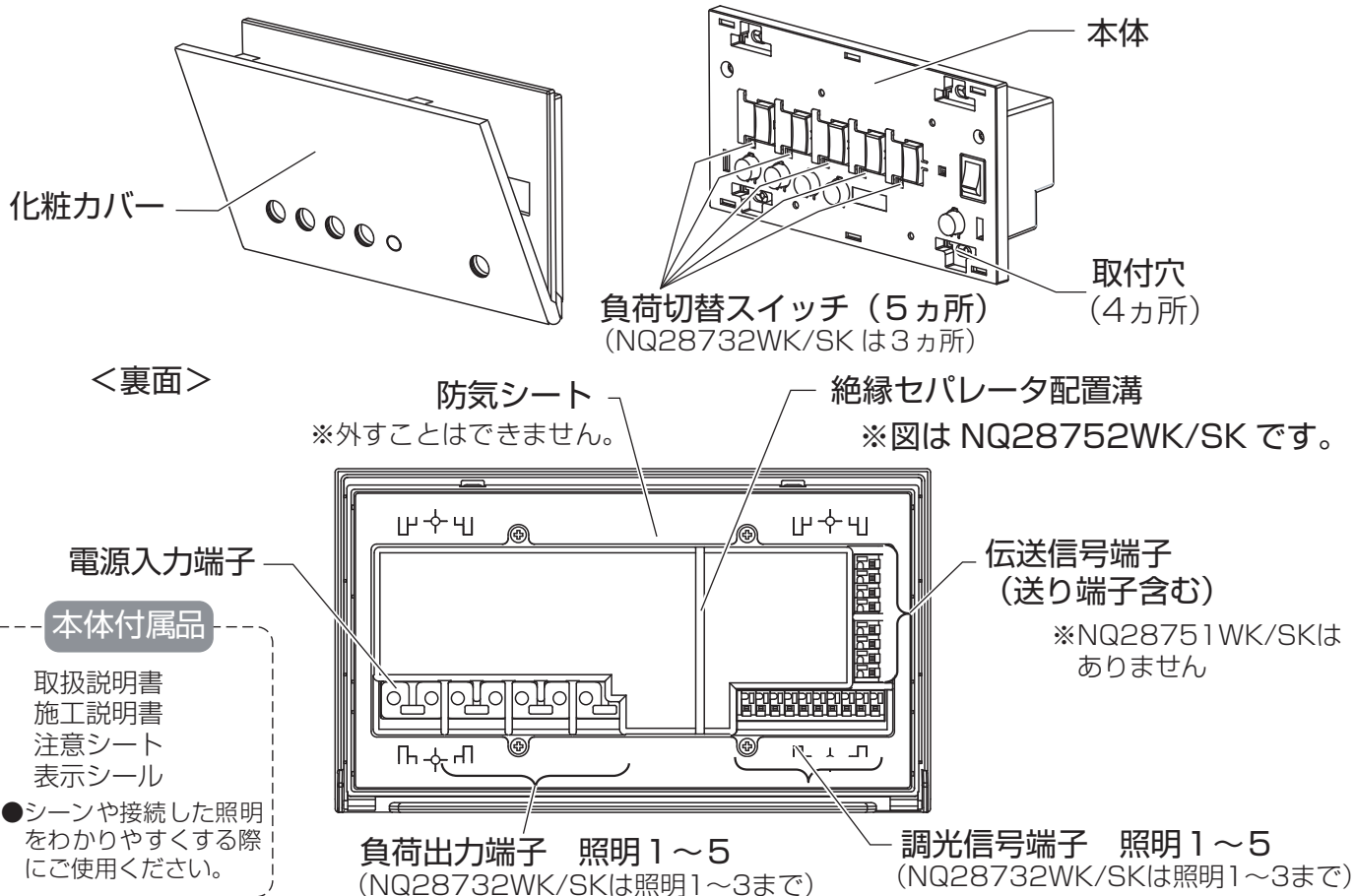
- 負荷側の端子は決して短絡させないでください。短絡しますと一瞬で本器が破壊されます。
- 負荷線と信号線を間違えないように確認してから結線してください。
間違えて結線されますと照明器具が故障する可能性があります。
- 本器は単相100V専用です。
- 本器には雑音防止装置を内蔵していますが、ラジオや各種音響機器に雑音障害を及ぼす場合がありますので音響機器側には下記の対策を実施してください。
 - ・ライコンと音響機器やアンテナ、アース線とは1m以上離してください。
 - ・音響機器にアースがある場合は、音響機器の器具アースを確実にとってください。
 - ・ライコンと音響機器は電源を別相にしてください。

単相3線方式の場合



- 電源が単相3線方式の場合で、消費電力が1kW以上の機器がある場合はその機器とは電源を別相にしてください。
電源波形にひずみが生じ照明がちらつく場合があります。
- 高気密を確保するために必ず加工穴寸法を守り、防気シートが曲がらないように施工してください。
- ケースに必要以上に強い衝撃を与えないでください。また、割れやひびが入ったまま施工されますと安全性能が保てなくなります。
- マット敷き工法(熱抵抗値2.5㎡・k/W以下)で断熱施工された壁に使用できます。

各部のなまえと付属部品



適合負荷

※1回路には必ず同じランプ種類（起動方式）を接続してください。

下表の適合負荷を接続することができます。

ランプ種類【ランプ品番】			起動方式 ※3	1回路あたりの負荷容量	あかりの切替
白 熱 灯					
トランス (12V)	ワイヤリングシステム (12V) 電源ユニット LGK00151			200Wまで	ON/OFF 調光
	電子ダウントランス HNK00844				
直管 蛍光灯	Hf蛍光灯 [FHF] 明るさフリー ※1		PX、PY、PD、EDH	200W (2A) まで	ON/OFF 調光
	シーームレスラインランプ明るさフリー [FRT] ※1		EYH		
	Hf蛍光灯、Hfスリム蛍光灯 [FHF]		E	(ただし明るさフリー は最大8台まで)	ON/OFF
	シーームレスラインランプ [FRT]				
直管蛍光灯 [FL]					
丸形 蛍光灯	ツインバルック (プレミアム) 蛍光灯 [FHD]		E	20形以下 5台まで 21～39形 3台まで 40～100形 1台まで	ON/OFF
	丸形スリム蛍光灯 [FHC]				
	丸形蛍光灯 [FCL]				
	スパイラルバルック蛍光灯 [FHSC]				
バルックボール (スパイラル、プレミアム、プレミアムQ ※2)				W数に関わらず6灯まで	ON/OFF
LED	LED明るさフリー	位相制御式 (2線式) ※5	LC ※4 LG ※9 LK、LB ※9、LU	1.5Aかつ10台まで	ON/OFF 調光
			XG ※10 ※11	1.3Aまで	
	信号線式 ※1	LD、LV ※9 LZ、LA LT、LH ※6 LX ※6 LY ※6 LI ※13	1.5Aかつ15台まで	ON/OFF	
	LED器具 (出力固定型)	LE ※9 ※12	0.02A～1.5A	ON/OFF	
		CE	8台まで		
	LED電球 (パナソニック製) ※8	CF	6台まで	ON/OFF	
		8灯まで			
全回路の合計最大負荷容量 : 400W (4A) ※7					

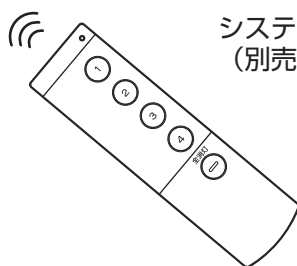
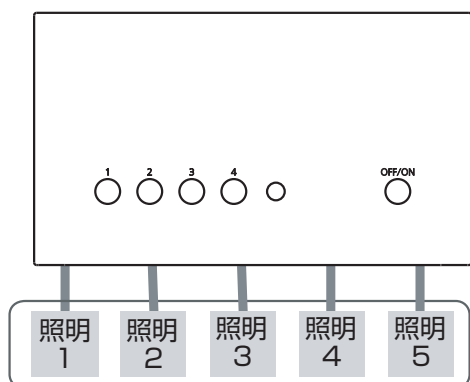
- ※1 調光には調光信号線が必要です。調光信号線の回路には容量制限があります。蛍光灯は5.0mA/台、LEDは2.6mA/台として全回路合計が100mA以下でご使用ください。
- ※2 プレミアQは点灯初期 (クイックランプ点灯時) の消費電力は約30Wとなるため、最大負荷計算時は1台当たり30W (0.3A) としてください。
- ※3 起動方式は、基本的にアルファベットの後ろの数字が『1』の照明器具をご使用ください。(例: PX1、LE1)『7 (電圧100V/200V)』や『9 (電圧100~242V)』を使う場合は、必ず入力電源をAC100Vでご使用ください。
- ※4 1回路につき1台調光インターフェースユニット (NK28900) を必ず接続してください。
- ※5 位相制御式 (2線式) の照明器具は下記の現象が発生する場合がありますが異常ではありません。
- ・調光上限および、調光下限で明るさの変化しない範囲が他の器具より多くなります。
 - ・調光下限でチラツキが発生する場合があります。その場合は少し明るめでご使用ください。
 - ・他機器 (同相電源の照明以外の高容量負荷など) の影響で電源電圧が変動すると調光点灯時に明るさが若干変化することがあります。
 - ・複数灯を同時に調光した場合、消灯する明るさにバラツキが生じることがあります。
- ※6 初期照度補正機能により調光できる範囲が狭くなります。調光下限・上限域では操作しても明るさは変わりません。
- ※7 最大負荷容量を超えると故障のおそれがあります。
- ※8 LED電球 (調光器対応) はON/OFFのみで使用可能です。
- ※9 起動方式LG、LB、LV、LEには台数制限が必要な品番があります。
Web上の「リビングライコン接続判定ツール」をご確認ください。
- ※10 器具側の容量制限のため、ブースタを使用しても容量を増やすことはできません。
- ※11 スリムライン照明 (電源内蔵型) は水平方向に連結して使用できるのは1.3Aまで。縦・斜め連結の使用は3.7mまで。分岐して配線する場合は総合計1.5Aまで接続できます。照明器具の取扱説明と合わせてご確認ください。
- ※12 スリムライン照明 (電源内蔵型) は水平方向に連結して使用できるのは1.2Aまで。縦・斜め連結の使用は3.7mまで。分岐して配線する場合は総合計1.5Aまで接続できます。照明器具の取扱説明と合わせてご確認ください。
- ※13 負荷容量や配線は、器具側の制限があります。器具の取扱説明と施工説明をご確認ください。

- 逆位相2.5Aタイプのリビングライコンおよびブースタ、シーン選択とは接続できません。
使用不可親器: NQ28770W/H 使用不可ブースタ: NQL10070W/H 使用不可子器: NK28770W/H
使用不可親器: NQ28771W/H
- リモコン、センサ、調光機能付照明器具およびひとセンサタイプ、明るさ・光色切替タイプLED電球は接続できません。また、照明器具以外 (シーリングファン・電磁開閉器など) も接続できません。
- 1回路には必ず同じランプ種類 (起動方式) を接続してください。
- 他社製の蛍光灯やLEDの照明器具、電子ダウントランスは接続できません。
- 白熱灯以外 (蛍光灯およびLED器具) の負荷容量は必ず、入力電流 [A] の合計で計算してください。

リビングライコン接続判定ツール <http://sumai.panasonic.jp/lighting/home/living-lightcontrol/app/>

システムの構成

本器は離れた箇所からでもリモコン（別売）を使用して操作することができます。
また、ブースタ（別売）を接続することで負荷容量を増やすことができます。



システムリモコン送信器
(別売 HK9394)

※NQ28732WK/SKは照明1～3まで

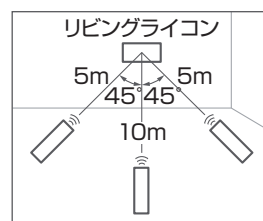
■適合ブースタ（負荷容量を増やせます）

リビングライコン用ブースタ1回路マルチタイプ NQL10051W/S
ブースタ1回路タイプ（連続調光インバータ用） NQL10021
ブースタ1回路タイプ（白熱灯用） NQL10001

■リモコン到達距離について

リモコン到達有効距離は本体正面で約10mです。
操作の角度が大きくなると到達距離が短くなります。

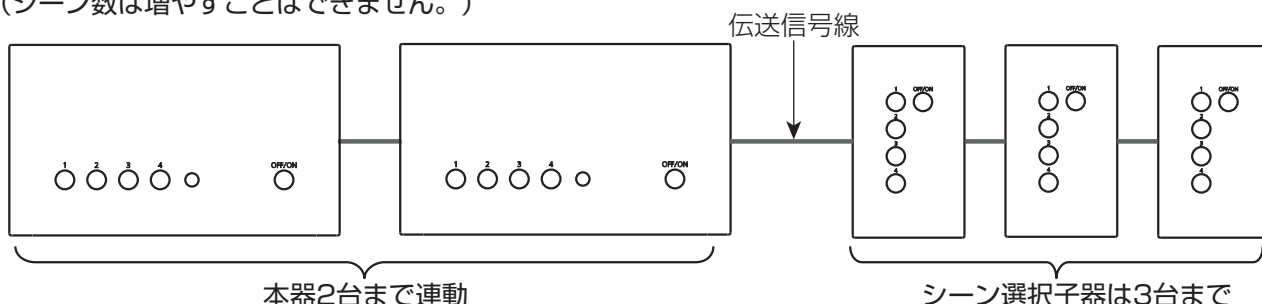
☞ 詳細は「リビングライコン取扱説明書」15ページをご覧ください。



■マルチ高機能調光タイプのみ（NQ28752WK/SK、NQ28732WK/SK）

本器2台を伝送信号線で接続し、連動させることで回路数を増やすことができます。

また、シーン選択子器（別売 NK28706W/S）を接続することで他箇所からの操作をすることができます。
（シーン数は増やすことはできません。）



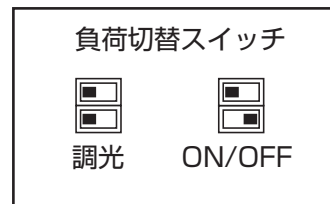
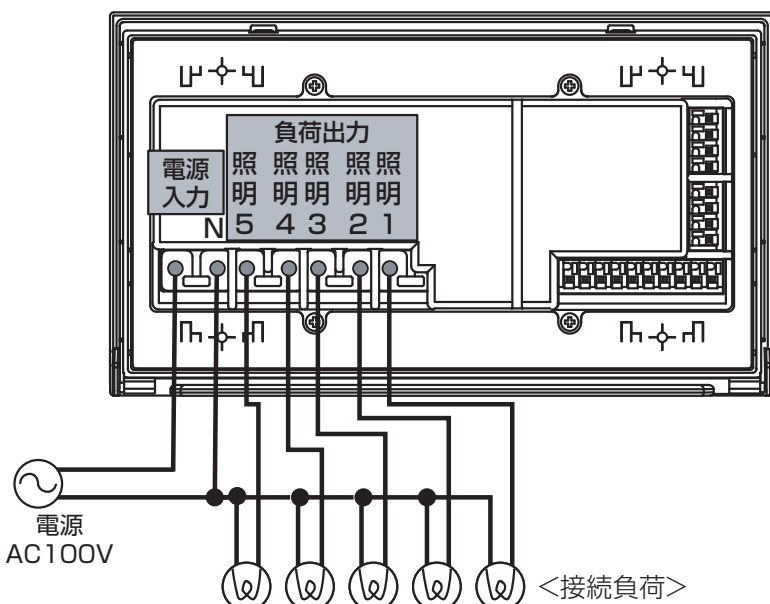
本器2台まで連動

シーン選択子器は3台まで

配線方法

配線方法は接続される負荷によって異なります。各負荷の結線図を参考に正しく配線してください。

■ 白熱灯、ワイヤリングシステム電源ユニット、電子ダウントランスの結線図



※NQ28732WK/SKは照明1～3まで

● 電源線、負荷線にはφ1.6またはφ2.0銅単線をご使用ください。

注意

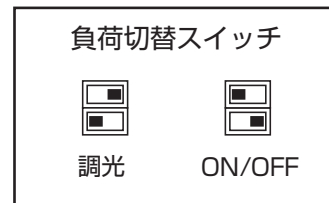
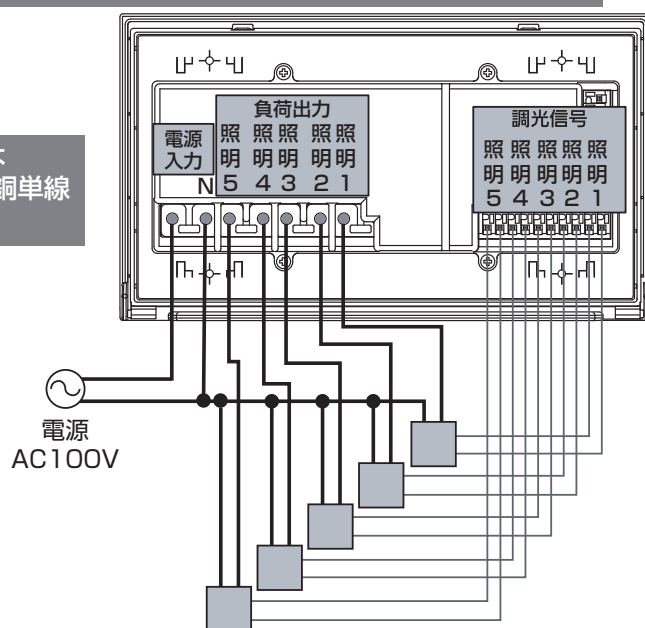
・結線図に従って正しく配線する
故障のおそれがあります。
・負荷線を短絡させない
故障のおそれがあります。

配線方法（つづき）

■ Hf蛍光灯 [FHF] 明るさフリー、シームレスランプ明るさフリー [FRT] の結線図例

●調光するには調光信号線を照明器具に接続する必要があります。

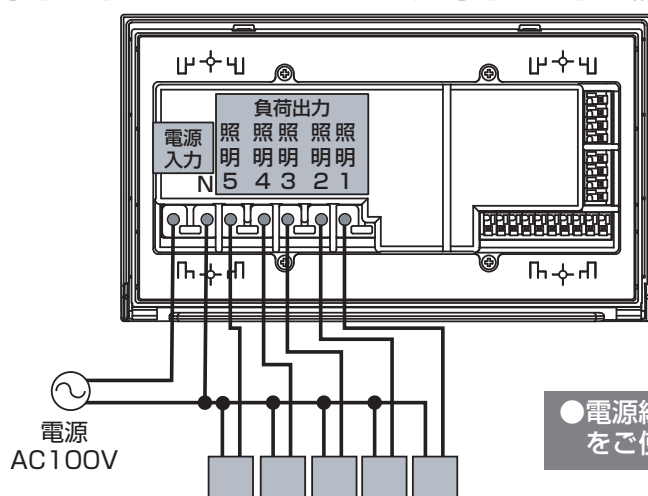
●電源線、負荷線には
φ1.6またはφ2.0銅単線
をご使用ください。



※NQ28732WK/SKは照明1～3まで

●調光信号線にはEM-CPEE（CPEV相当）φ0.9またはφ1.2×1ペアをご使用ください。
●調光信号線の総配線長は各回路あたり100m以下にしてください。

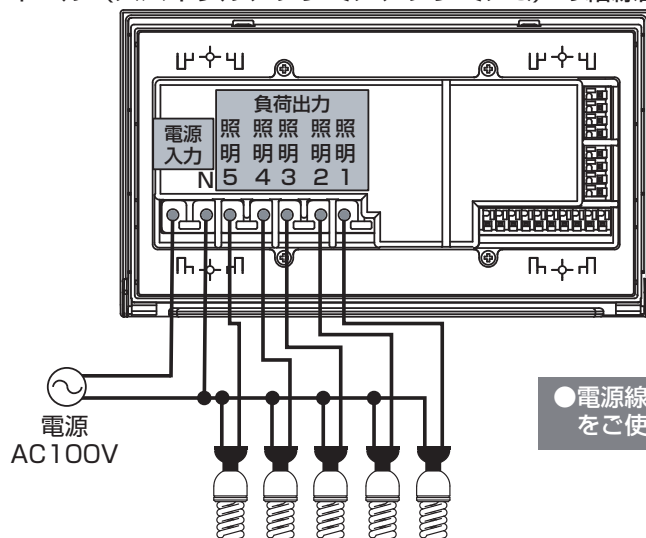
■ Hf蛍光灯・Hfスリム蛍光灯 [FHF]、シームレスラインランプ [FRT]、直管蛍光灯 [FL]、ツインバルック（プレミア）蛍光灯 [FHD]、丸型スリム蛍光灯 [FHC]、丸形蛍光灯 [FCL]、スパイラルバルック蛍光灯 [FHSC] の結線図例



※NQ28732WK/SKは照明1～3まで

●電源線、負荷線にはφ1.6またはφ2.0銅単線
をご使用ください。

■ パルックボール（スパイラル、プレミア、プレミアQ）の結線図例

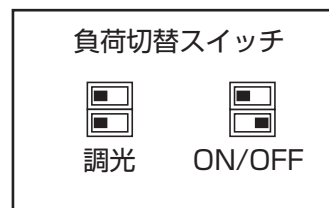
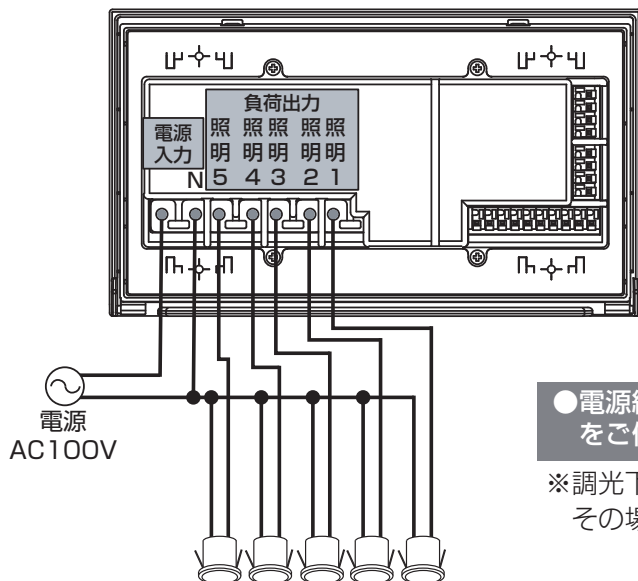


※NQ28732WK/SKは照明1～3まで

●電源線、負荷線にはφ1.6またはφ2.0銅単線
をご使用ください。

配線方法（つづき）

■ LED明るさフリー位相制御方式（2線式）の結線図例



※NQ28732WK/SKは照明1～3まで

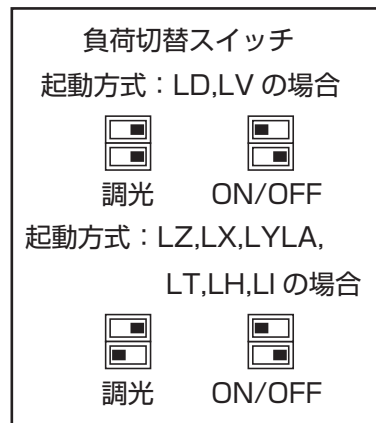
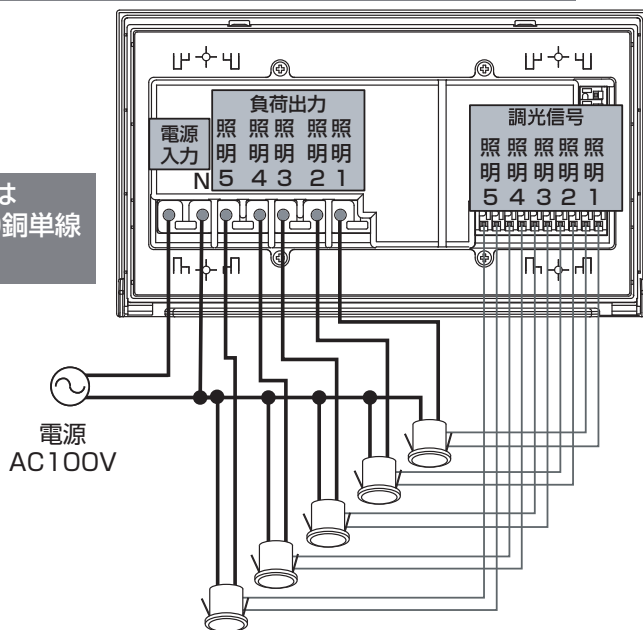
●電源線、負荷線にはφ1.6またはφ2.0銅単線をご使用ください。

※調光下限でチラツキが発生する場合があります。
その場合は少し明るめでご使用ください。

■ LED明るさフリー信号線式の結線図例

●調光するには調光信号線を照明器具に接続する必要があります。

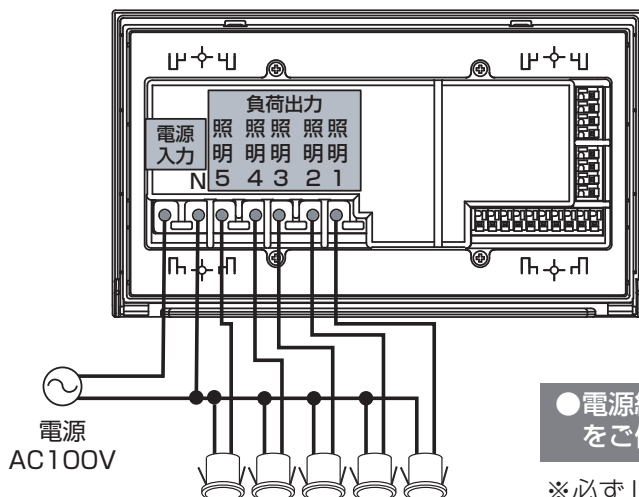
●電源線、負荷線にはφ1.6またはφ2.0銅単線をご使用ください。



※起動方式：LI の配線図は、器具の施工説明をご確認ください。
※NQ28732WK/SKは照明1～3まで

●調光信号線にはEM-CPEE（CPEV相当）φ0.9またはφ1.2×1ペアをご使用ください。
●調光信号線の総配線長は各回路あたり100m以下にしてください。

■ LED電球（パナソニック製）、LED器具（出力固定型）の結線図例



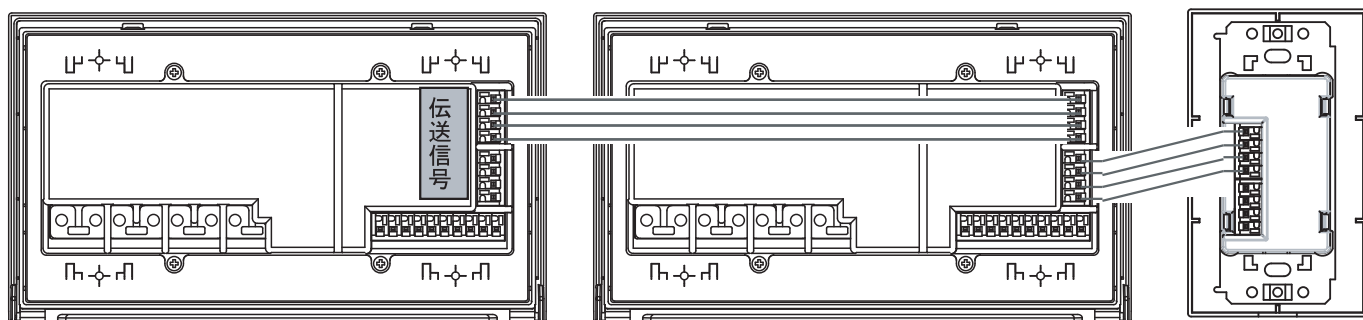
※NQ28732WK/SKは照明1～3まで

●電源線、負荷線にはφ1.6またはφ2.0銅単線をご使用ください。

※必ずLED電球（パナソニック製）をお使いください。

配線方法（つづき）

- 子器または2台連動で使用する場合の結線図例
マルチ高性能調光タイプ（NQ28752WK/SK、NQ28732WK/SK）のみ



- 伝送信号線にはEM-CPEE（CPEV相当）φ0.9またはφ1.2×2ペアをご使用ください。
- 伝送信号線の総配線長は50m以下にしてください。
- 伝送信号線は1台ずつ送り配線（一筆書き配線）で接続してください。（途中で分岐して接続することはできません。）
- 本器（NQ28752WK/SK、NQ28732WK/SK）2台、子器（NK28706W/S）3台まで接続可能です。

警告



適合電線を端子穴の奥まで差し込む
異常発熱や火災などの原因となります。

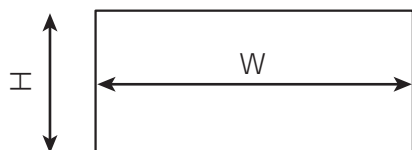
注意



結線図に従って正しく配線する
故障のおそれがあります。

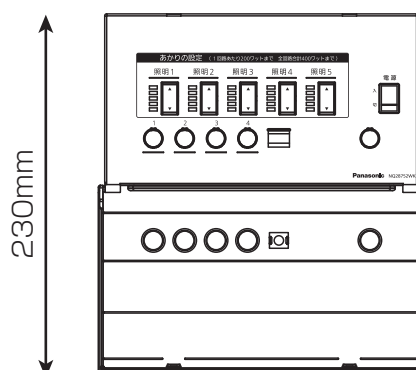
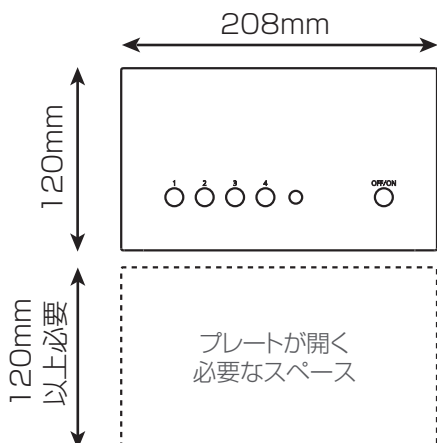
施工前のご確認

- 本器の取付にはスイッチボックスまたははさみ金具を使用してください。
 - ・JIS4コ用金属スイッチボックス（カバー付）
＜推奨品番:DS4914（パナソニック製）＞
 - 注）浅型のスイッチボックスは、奥行きがないため樹脂製スイッチボックスは、放熱性が悪いため使用できません。
- 取付方法に対応した開口穴の寸法を空けてください。
 - ※開口穴について
最初に最小寸法で穴を開け、商品と位置調整をしながら穴を削って広げるように施工してください。



	W	H
スイッチボックス取付	189 ⁺⁵ ₋₀	90 ⁺⁵ ₋₀
はさみ金具取付	189 ⁺⁵ ₋₀	95 ⁺⁵ ₋₀

- 化粧カバーは下を開きますので本器の下に120mm以上のスペースを確保してください。



- 接続取付はできません。並べる場合は30mm以上間隔をあけてください。
- 上下逆や横向きに施工しないでください。

施工方法

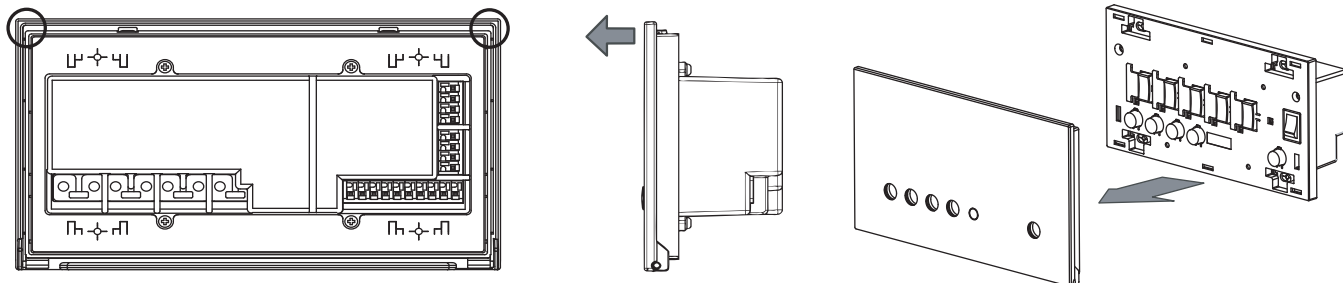
取り付け前のご注意

- ・器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

1 化粧カバーを外す

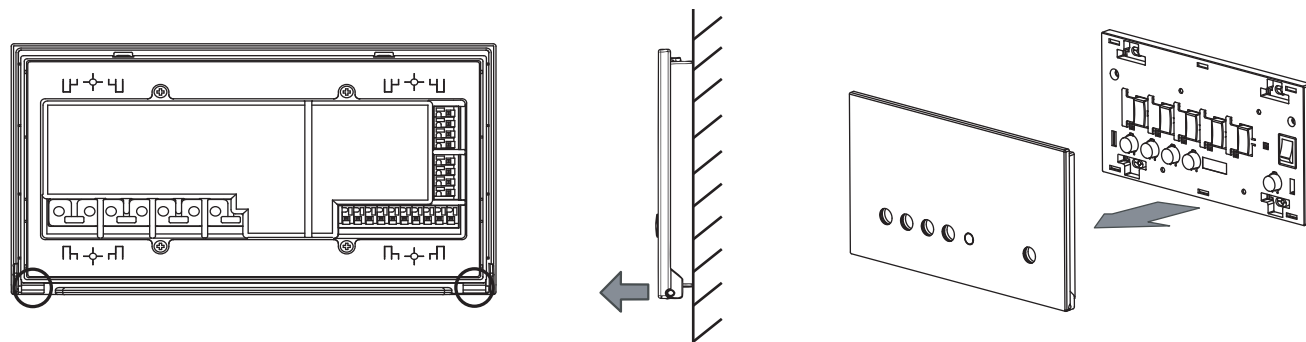
■ 施工前の場合

- ・化粧カバー上部のどちらかの角を持って手前に引っ張ると外れます。
(カバーを開いて引っ張りますとヒンジ部が壊れる場合があります。)



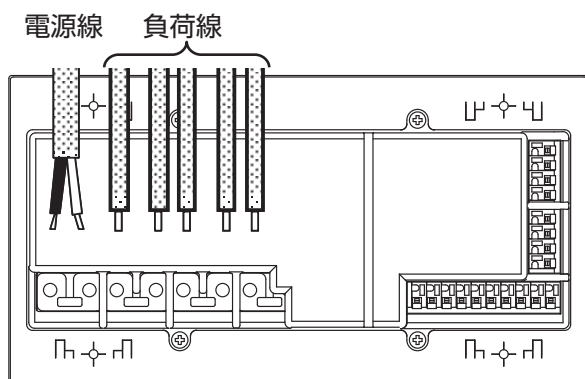
■ 施工後の場合

- ・化粧カバー下部の両方の角を持って手前に引っ張ると外れます。
(カバーを開いて引っ張りますとヒンジ部が壊れる場合があります。)



2 電源線と負荷線を接続する

本体背面のストリップゲージにあわせて電線被覆をむいて接続してください。



- 電源線、負荷線にはφ1.6またはφ2.0銅単線をご使用ください。



警告



適合電線を端子穴の奥まで差し込む
異常発熱や火災などの原因となります。



注意



- ・結線図に従って正しく配線する
故障のおそれがあります。
- ・負荷線を短絡させない
故障のおそれがあります。

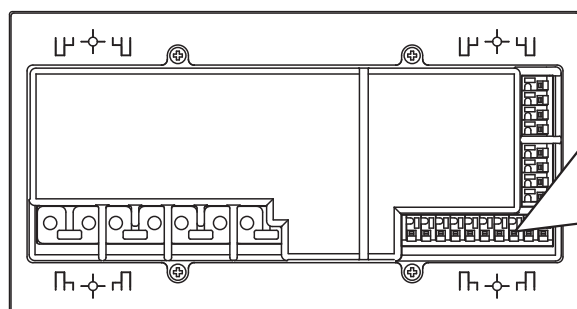
<ニュートラル線に関して>

- 本器にはニュートラル線が必要です。必ずニュートラル線を電源端子のN側に接続してください。
- 照明器具からのニュートラル線は外部で接続する必要があります。接続にはジョイントボックスを使用してください。
(金属スイッチボックス使用時はボックス内部で接続することはできません。)
- ニュートラル線は1箇所ですべて接続してください。外来ノイズによるチラツキの原因となります。

施工方法（つづき）

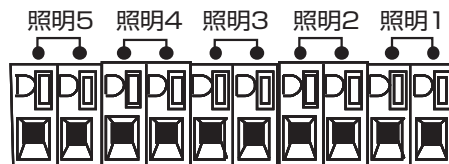
3 調光信号線を接続する

＜Hf蛍光灯明るさフリー、シームレスランプ明るさフリー、LED明るさフリー（信号線式）使用時のみ＞
本体背面のストリップゲージにあわせて電線被覆をむいて接続してください。

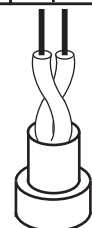


- 調光信号線にはEM-CPEE（CPEV相当）φ0.9またはφ1.2×1ペアをご使用ください。
- 調光信号線の総配線長は各回路あたり100m以下にしてください。

負荷出力端子に記載されている「照明1、2、3・・・」に対応しているので該当する照明器具に接続してください。



調光信号に極性はありません。



警告

適合電線を端子穴の奥まで差し込む
異常発熱や火災などの原因となります。

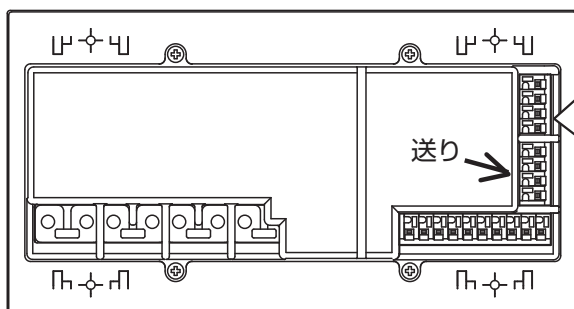
注意

結線図に従って正しく配線する
故障のおそれがあります。

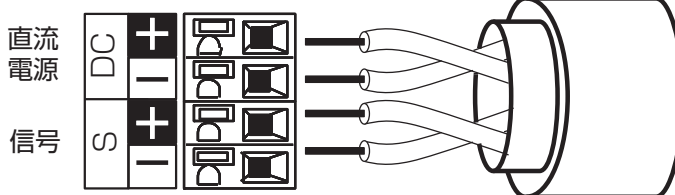
4 伝送信号線を接続する（マルチ高機能調光タイプ（NQ28752WK/SK、NQ28732WK/SK）

＜子器または本器を2台連動して使用する場合に限ります。＞

本体背面のストリップゲージにあわせて電線被覆をむいて接続してください。



各器で端子記号が一致するように接続してください。



警告

適合電線を端子穴の奥まで差し込む
異常発熱や火災などの原因となります。

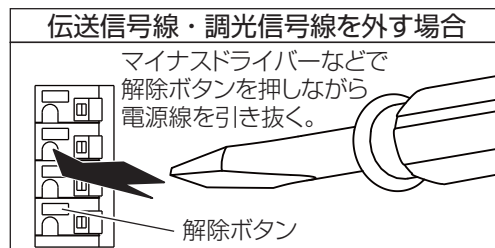
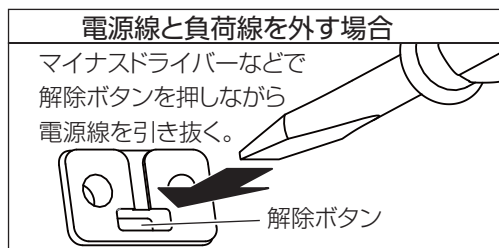
注意

結線図に従って正しく配線する
故障のおそれがあります。

- 伝送信号線にはEM-CPEE（CPEV相当）φ0.9またはφ1.2×2ペアをご使用ください。
- 伝送信号線の総配線長は50m以下にしてください。
- 伝送信号線は1台ずつ送り配線（一筆書き配線）で接続してください。（途中で分岐して接続することはできません。）
- 本器（NQ28752WK/SK、NQ28732WK/SK）2台、子器（NK28706W/S）3台まで接続可能です。

施工方法（つづき）

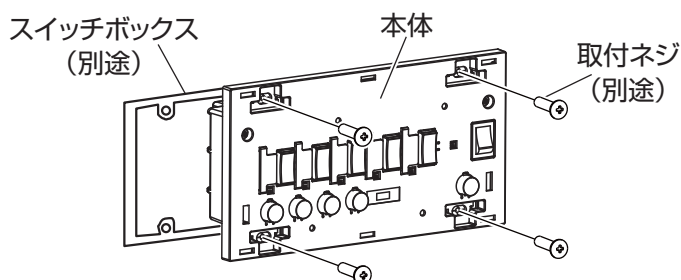
メモ 器具の取り替えなどで外す場合、以下の方法で引き抜いてください。



5 本体を取付ける

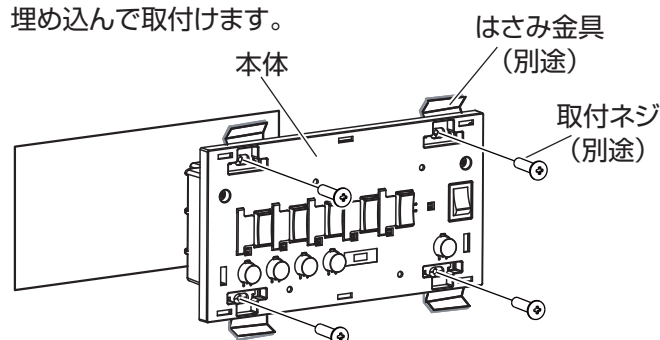
■ スwitchボックス取付の場合

本体をM4皿ネジ(別途)でスイッチボックスに取付けます。



■ はさみ金具取付の場合

はさみ金具(別途)を使って本体を壁に埋め込んで取付けます。



注意



本体を確実に取付ける
取付けが不完全な場合、
落下による怪我の原因
となります。

確認

はさみ金具を使用する際は必ず
4個使用して取付けてください。

- 壁材にメタルラス、ワイヤラスなど金属が含まれる場合はその金属部に触れないように施工してください。
- スwitchボックス取付時は電源線・負荷線と調光信号線・伝送信号線は絶縁セパレータ (別売WV2450) など堅ろうな隔壁を設けて絶縁してください。

6 負荷切替スイッチを設定する

接続される照明器具によって、負荷切替スイッチを設定する必要があります。

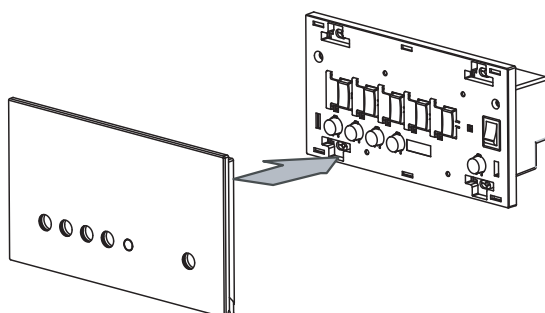
☞ 詳細は12ページを参照してください。

7 リモコン設定スイッチを設定する

＜リモコンを複数使用する場合や照明器具のリモコンと干渉する場合に限ります。＞

☞ 詳細は「取扱説明書」の16ページをご覧ください。

8 化粧カバーを取付ける

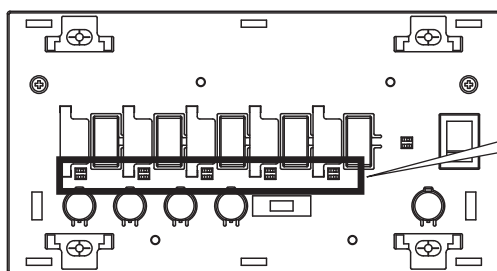


ツメで勘合していますので
しっかりと合せてください。

負荷切替スイッチの設定

■負荷切替スイッチの場所

負荷切替スイッチは化粧カバーを開いた状態で、下図の位置に配置されています。



負荷切替スイッチ



スイッチは精密ドライバーなど先のとがったもので変更してください。
(初期設定：ON/OFF)

■適合負荷に対する負荷切替スイッチの設定

ランプ種類 [ランプ品番]			負荷スイッチの設定	
白 熱 灯				
トランス (12V)	ワイヤリングシステム (12V) 電源ユニット LGK00151		調光	ON/OFF
	電子ダウントランス HNK00844			
直管 蛍光灯	Hf蛍光灯 [FHF] 明るさフリー		調光	ON/OFF
	シーームレスラインランプ明るさフリー [FRT]			
	Hf蛍光灯、Hfスリム蛍光灯 [FHF]			
	シーームレスラインランプ [FRT]			
丸形 蛍光灯	直管蛍光灯 [FL]			
	ツインパルック (プレミアム) 蛍光灯 [FHD]		ON/OFF	
	丸形スリム蛍光灯 [FHC]			
	丸形蛍光灯 [FCL]			
スパイラルパルック蛍光灯 [FHSC]				
パルックボール (スパイラル、プレミアム、プレミアQ)				
LED	LED明るさフリー	位相制御式 (起動方式 : LC、LG、LK、 (2線式) LB、LU、XG)	調光	ON/OFF
		信号線式 (起動方式 : LD、LV)	調光	ON/OFF
		信号線式 (起動方式 : LX、LY、LZ、 LA、LT、LH、LI)	調光	ON/OFF
	LED器具 (出力固定型) (起動方式 : LE、CE、CF)		ON/OFF	
	LED電球 (パナソニック製)			

●負荷切替スイッチは変更後すぐに設定が反映されます。
(電源の再投入などは必要ありません。)



警告



負荷切替スイッチを正しく設定する

本器や照明器具を破壊させたり、火災のおそれがあります。

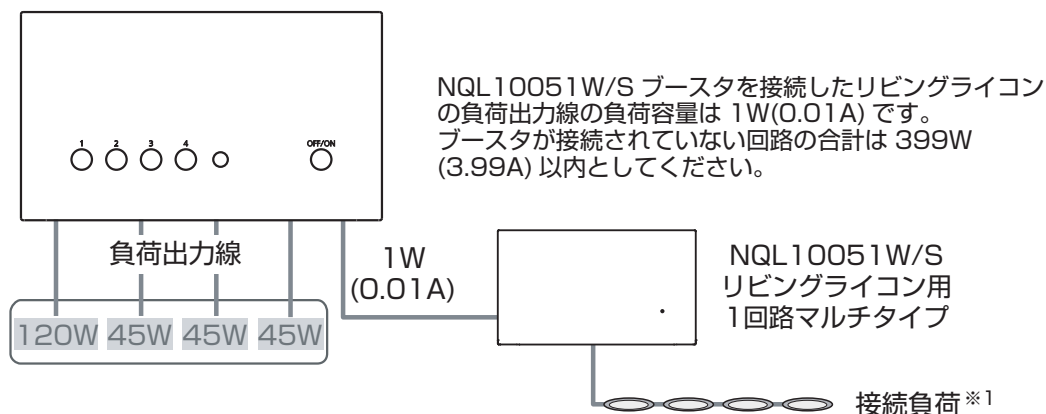
教えて！Q&A

Q1 1 回路につなげる負荷容量を増やすことはできますか？

A1 ブースタ（別売）（NQL10051W/S）を使用することで 1 回路の負荷容量を増やすことができます。
1 回路に 1 台まで、すべての回路に接続できます。
☞ 接続方法はブースタの取扱説明書などをご覧ください。

■リビングライコン用ブースタ1回路マルチタイプ（別売 NQL10051W/S）を使用する場合

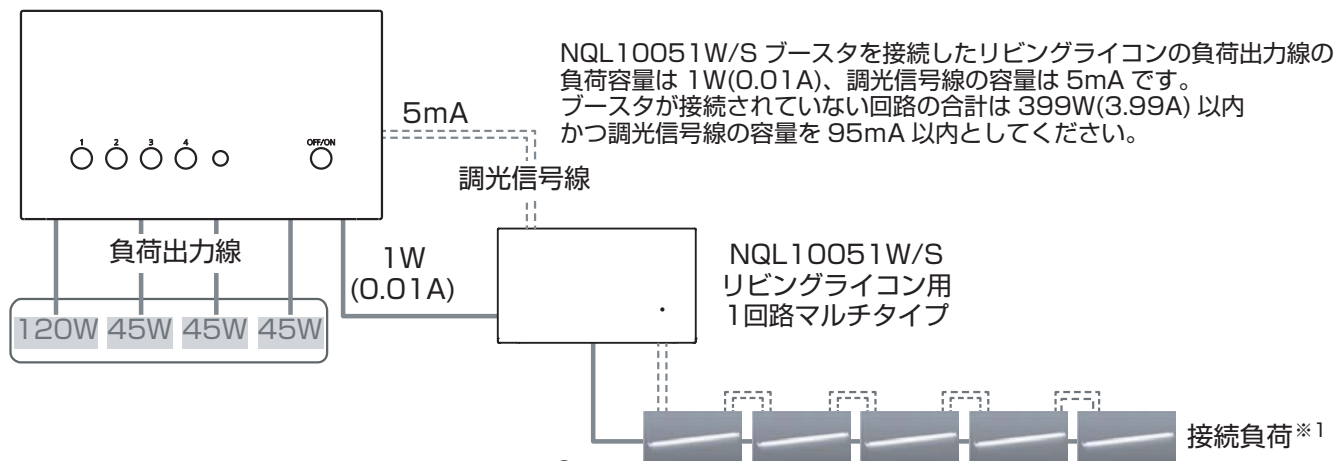
＜LED明るさフリー位相制御方式（2線式）・LED電球・パルックボール・
ON/OFF器具（LED、蛍光灯）・白熱灯の負荷容量を増やす場合＞



・リビングライコンの負荷切替スイッチの設定 ※2

ブースタに接続されるランプ種類 [ランプ品番]		負荷切替スイッチの設定
白 熱 灯、電子トランス		調光 ☐ ON/OFF ☐
LED	LED明るさフリー 位相制御方式（2線式） （起動方式：LC、LG、LK、LB、LU）	ON/OFF ☐
ON/OFF器具（LED、蛍光灯）		ON/OFF ☐
パルックボールプレミア、LED電球（パナソニック製）		

＜LED（シンクロ調光）明るさフリー・蛍光灯明るさフリー（信号線式）の負荷容量を増やす場合＞



・リビングライコンの負荷切替スイッチの設定 ※2

ブースタに接続されるランプ種類 [ランプ品番]		負荷切替スイッチの設定
直管 蛍光灯	Hf蛍光灯 [FHF] 明るさフリー シームレスラインランプ明るさフリー [FRT]	調光 ☐ ON/OFF ☐
LED	LED明るさフリー 信号線式（起動方式：LD、LV）	調光 ☐ ON/OFF ☐
	信号線式（起動方式：LX、LY、LZ LA、LT、LH、LI）	調光 ☐ ON/OFF ☐

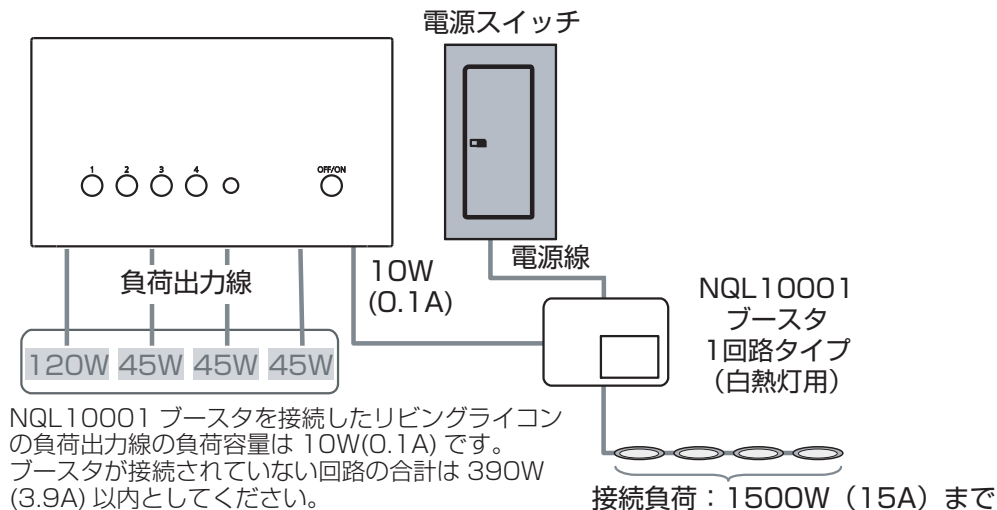
※1 接続負荷により負荷容量が異なります。ブースタの取説などで各負荷の容量をご確認ください。

※2 ブースタが接続されている負荷切替スイッチを設定する必要があります。

設定はブースタに接続されている負荷に合わせて設定してください。（詳細は 12 ページをご覧ください。）

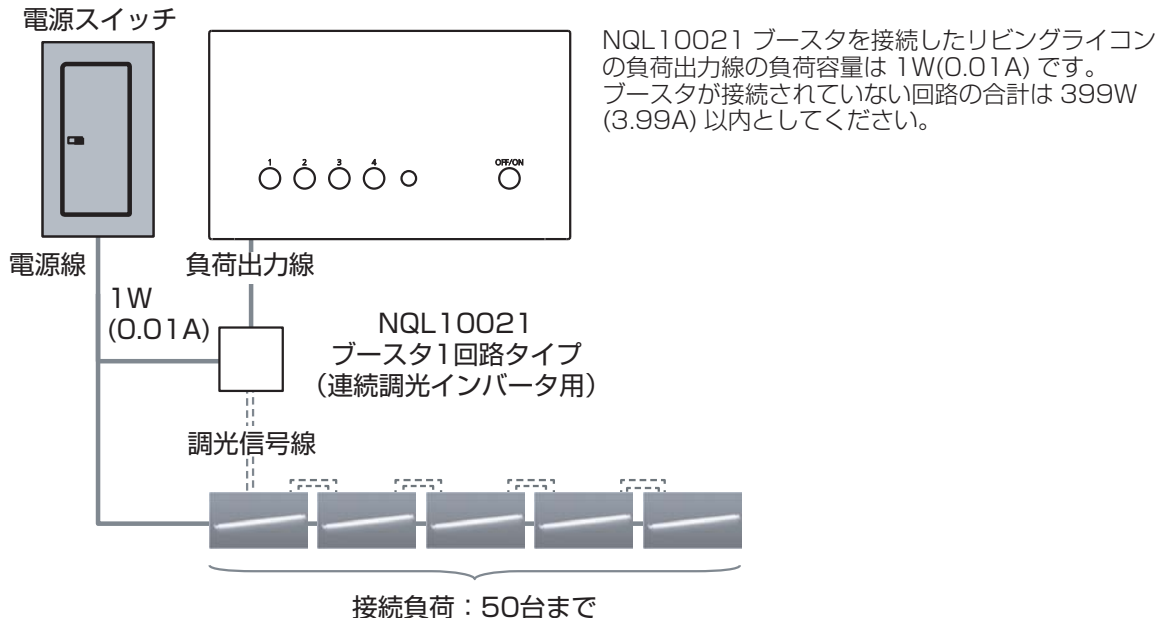
教えて！Q&A（つづき）

■ブースタ1回路タイプ（白熱灯用）NQL10001を使用する場合



- ブースタが接続される回路の「負荷切替スイッチ」を白熱調光  に設定してください。
- ブースタへの接続負荷は必ず壁スイッチを併用して別電源を使用してください。
- このブースタを接続することで直管蛍光灯器具を700W（7A）まで使用できます。
この時、ブースタを接続した回路の「負荷切替スイッチ」は必ずON/OFF  に設定してください。

■ブースタ1回路タイプ（連続調光インバータ用）NQL10021を使用する場合。



- ブースタが接続される回路の「負荷切替スイッチ」を白熱調光  に設定してください。
- ブースタへの接続負荷は必ず壁スイッチを併用して別電源を使用してください。
- ブースタのHf/PC切替スイッチを負荷にあわせて設定してください。
(詳細はブースタの取説などをご参照ください。)
 - Hf：Hf蛍光灯 [FHF] 明るさフリー
シームレスラインランプ明るさフリー [FRT]
LED明るさフリー信号線式 (起動方式：LZ、LX、LY、LA、LT、LH、LI)
 - PC：LED明るさフリー信号線式 (起動方式：LD、LV)

教えて！Q&A（つづき）

Q2 3路スイッチを使用することはできますか？

A2 本器は3路仕様でないため使用することはできません。
多箇所からの操作される場合は、マルチ高機能調光タイプ（NQ28752WK/SK、NQ28732WK/SK）とシーン選択子器（NK28706W/S）を連動させてご使用ください。

Q3 リビングライコンへの電源にスイッチを入れることができますか？

A3 可能です。
ただし、本体に主電源を切るスイッチが搭載されています。

Q4 白熱灯、蛍光灯、LEDをひとつの回路につないで調光できますか？

A4 できません。
白熱灯、蛍光灯、LEDそれぞれ調光の制御方式が異なります。回路を分けて使用してください。

Q5 2箇所から同一照明器具を調光することはできますか？

A5 できません。
照明器具1台に対して接続できるリビングライコンは1台です。

Q6 調光信号線は分岐配線することはできますか？

A6 可能です。

Q7 伝送信号線は分岐配線することはできますか？

A7 できません。
必ずリビングライコンまたは子器にある送り端子を使用し、一筆書きで接続してください。

Q8 販売を中止したリビングライコンで使用していた子器をつなげることはできますか？

A8 使用することはできません。
子器との制御方式が異なるため互換性がありません。

Q9 本商品以外のリビングライコンで使用していた子器をつなげることはできますか？

A9 使用することはできません。
本商品のシーン選択子器（NK28706W/S）をご使用ください。

Q10 断熱施工で、熱抵抗値 $2.5 \text{ m}^2 \cdot \text{k/W}$ 以下であればブローイング工法の壁面に施工できますか？

A10 施工することはできません。
リビングライコンはマット敷き工法のみ可能です。その他の断熱施工された壁面には施工できません。

Q11 露出ボックスなどで施工できますか？

A11 施工することはできません。
リビングライコンは壁埋込施工専用です。その他の施工はできません。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 置	参照ページ
本体のLEDが点灯しない	電源が入っていない。	化粧カバーをあけて、電源スイッチを「入」にする。	—
	電源線が正常に接続されていない。	電源線を再度結線しなおしてください。	—
	電源線を間違えて調光信号端子または伝送信号端子に接続して電源を入れた。	本器が壊れます。交換してください。	—
	負荷線を短絡している。	本器が壊れます。交換してください。	—
シーン1ボタンが点滅し続ける	接続されている負荷が容量を超えている。	負荷容量を範囲内にしてください。	取扱説明書 17ページ
シーン2ボタンが点滅し続ける	調光信号線につながれている負荷が容量を超えている。	負荷容量を範囲内にしてください。	取扱説明書 17ページ
	調光信号線を短絡している。	調光信号線の配線をみなおしてください。	
	調光信号線と伝送信号線が間違えて接続されている。	正しく結線しなおしてください。	
シーン3ボタンが点滅し続ける	本器が正常に起動していない。	電源を一旦切り5秒以上待った後、電源を再度投入してください。	取扱説明書 18ページ
点灯しない	電源線の「N」と「L」が間違えて接続されている。	正しく結線しなおしてください。 ※ブースタとの接続端子を誤ると破損する場合があります。	—
白熱灯・LED位相制御式（2線式）が調光できない	負荷切替スイッチが正しく設定されていない。	調光できない器具が接続されている負荷切替スイッチを設定しなおしてください。	12ページ
調光できない	調光可能な蛍光灯またはLED器具が接続されていない。	調光可能な器具に交換してください。	4ページ
		負荷切替スイッチをON/OFF設定で使用してください。（ON/OFFでの使用となります。）	12ページ
	負荷切替スイッチが正しく設定されていない。	調光できない器具が接続されている負荷切替スイッチを設定しなおしてください。	12ページ
	調光信号線がつながれていない。（蛍光灯、LED（信号線式）の場合）	調光信号線の配線をみなおしてください。	—
あかりがちらつく	電源が単相3線の場合で消費電力が1kW以上の機器がある。	その機器とは電源の相を分けてください。	—
	適合していない負荷が接続されている。	適合照明器具に交換してください。	4ページ

■マルチ高機能調光タイプ（NQ28752WK/SK、NQ28732WK/SK）

現 象	考えられる原因	処 置	参照ページ
子器が動作しない	伝送信号線の端子名と一致した箇所に接続されていない。	伝送信号線の配線をみなおしてください。	—
	伝送信号線と調光信号線が間違えて接続されている。	正しく結線しなおしてください。	—
子器のOFF/ONボタンが点滅しつづけている	伝送信号線の「SL+」と「SL-」を間違えて接続している。	伝送信号線の配線をみなおしてください。	—
	伝送信号線と調光信号線が間違えて接続されている。	正しく結線しなおしてください。	—
本器2台が連動しない	伝送信号線が正しく接続されていない。	伝送信号線の配線をみなおしてください。	—